

KSKP NPO法人 障害者情報ネットワーク尼崎 広報誌

明日のために



2004. 6. 25 No. 2

障害者こそ情報を共有し、ひろげましょう

NPO法人 障害者情報ネットワーク尼崎 理事長 広瀬 徹

インターネットやホームページにかかわった情報流失の事件や、痛ましい小学生の刺傷事件がニュースとして配信されています。

コンピュータをさわるものは、これら一連のことがらを昔から「情報社会の光と影」と呼び、十分頭に置いて動かなければと、自戒しあってきました。

しかしその情報社会の出来事は、多くの障害者とは縁の少ないものでした。ネット売買の詐欺に陥るといことも逆にありません。

「影」の部分でさえ、障害者は情報社会とは縁遠いものでした。

いっそう深刻になる障害者の「情報格差」をこれからの時代にどんな作戦を立ててやっていくか、大事な時期に来ていると思います。

つい最近まで、外出することから遠ざけられていた私達が、「バリアフリー」という合い言葉で運動を続け、今ではかなり外出がしやすくなりました。この運動の道筋を思い浮かべ、「情報社会のバリアフリー」を実現していく作戦を共に考えていきましょう。

1. インターネットやコンピュータ利用はとて役立つものであることを実感する機

会を作っていきます。

実際にコンピュータのスイッチを入れ、漢字変換し、暑中見舞いなどハガキのカラー印刷を一緒にやってみましょう。

旅行に行く前、インターネットで泊まる宿の間取りを調べ、行く道筋をプリントし、近くの観光スポットとバリアフリーの状態を調べる・・・これらのことを一緒にやってみましょう。

2. プライバシーが知らず知らずのうちに侵されていくことや、個人情報の流失、通信売買契約の落とし穴などの「影」の部分を伝え、それを防ぐ方法を一緒にやってみましょう。

3. 障害者にとってコンピュータ機器は、マウスの不安定さとか、声の出ない画面操作とか、不自由な使いにくいものです。これらを克服する技術やプログラムを実際に使ってみて、それを仲間に広げていく活動を進めましょう。

4. まだまだ高価なコンピュータ機器を、企業からの寄付や、レンタル製品の引き受けや、福祉機器としての配布など、障害者の手元に届けられる道筋をさぐりましょう。

※表題のイラストは奥山洋介氏

NPO法人 2004 年度総会が開かれました

2003 年 7 月 22 日に NPO 法人として認証されて以来の 8 ヶ月の活動について報告し、2004 年度の事業計画・予算を討議するための総会が、4 月 24 日、身障会館で、法人会員 13 名のうち、出席者 10 名、委任状 3 名で、開催されました。

<2003 年度事業報告>

1. コンピュータ教室開催事業

1. 「パソコン初級教室」 (講師：橋本一人)				
	開始日	回数	受講者	延べ人数
第 1 回	8 月 25 日 (月)	4	5	20
第 2 回	10 月 20 日 (月)	4	3	12
第 3 回	1 月 19 日 (月)	4	5	20

2. 「パソコン初級教室」 (講師：高尾絹代)

第 1 回	10 月 28 日 (火)	4	3	12
第 2 回	1 月 20 日 (火)	4	5	20
第 3 回	3 月 16 日 (火)	4	2	8

3. ワープロ中級教室 (講師：広瀬 徹)

第 1 回	8 月 23 日 (土)	4	2	8
第 2 回	10 月 18 日 (土)	4	5	20
第 3 回	12 月 6 日 (土)	4	4	16
第 4 回	1 月 17 日 (土)	4	5	20
合計延べ開催回数		40	39	156

<受講者の内訳>

初級 2 教室、中級 1 教室を、それぞれ週 1 回 4 回を 1 サイクルとして、全部で 10 サイクル、延べ 156 名の受講がありました。最大 5 名の受講者で、障害の程度に合わせたスピードなどきめの細かい講習が行え、受講者からも「少人数でひとりひとりにきめこまかい指導がしていただけたことが良かったと思います。」という感想が寄せられています。

受講者 39 人の内訳は、肢体障害 35 名、内部障害 2 名、聴覚障害 1 名、視覚障害 0 名、知的障害 1 名でした。年代別には、20 代 1 名、30 代 3 名、40 代 3 名、50 代 9 名、60 代 16 名、70 代 7 名でした。

60 代以上が合わせて 23 名、受講者の 6 割に及ぶ事は、情報格差を超えたいとの願いが高年齢層にあることを示していると受け止めています。

2. ホームページ開設・運営支援事業

当初予定の「ホームページ作成教室」は、人員の余裕がなく、実施できませんでした。

本年度より支援費制度の契約制度が開始されましたが、それに伴い支援費事業所の内容をくわしく知りたいという要望が寄せられています。尼崎市障害福祉課にも相談し、「市内支援費事業所連絡会」の立ち上げを待って各事業所の内容を掲載するホームページ開設の無料開設の支援をするよう準備中です。

3. 法人設立・運営に関する支援事業

「法人化講座」については、実施できませんでしたが、当 NPO ホームページに、法人設立までの準備内容、認証時の提出書類の詳細、認証後の法務局・国税・県税・市税事務所への届け出の手順、1 年後の免税の手続きなどを、NPO 法人化を目指している団体、後続の認証 NPO 団体への支援となるよう資料掲載した。参考にしていると質問などが 3 団体よりありよこんでいます。

4. 障害者福祉に関する情報発信事業

2 月 15 日、広報誌「明日のために」が創刊できました。市内の障害者・関連団体を中心として 504 通が配布できました。

<2003 年度決算報告>

2003 年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2003 年 7 月 22 日から 2004 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人障害者情報ネットワーク尼崎

科目	金額	科目	金額
I 経常収入の部		II 経常支出の部	
1 会費収入		1 事業費	
正会員	13,000	コンピュータ教室開催事業	157,841
個人賛助会員	0	ホームページ開設・運営支援事業	0
団体賛助会員	0	法人設立・運営に関する支援事業	0
2 事業収入		障害者福祉に関する情報発信事業	20,666
コンピュータ教室開催事業	117,000	2 管理費	
ホームページ開設・運営支援事業	0	事務人件費	0
法人設立・運営に関する支援事業	0	設立準備費	26,340
障害者福祉に関する情報発信事業	0	通信費	420
3 寄付金・補助金収入		消耗品費	1,806
寄付金収入	32,000	書籍購入費	2,168
謝金収入	5,000	機器運搬費	2,000
援助金収入	50,000	会議費	6,000
経常収入合計	217,000	経常支出合計	217,241
当期収支差額	-241		
前期繰越正味財産額 (設立時資金有高)	30,000		
当期正味財産合計	29,759		

私達「NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎」の収支をざっと見ますと、支出の8割を占めるのが「コンピュータ教室開催事業(教材準備費、講師交通費)」15.7万円と、「情報発信事業(ホームページ開設、広報誌発刊)」2万円です。

2003年度はこの二つの事業を中心として活動してきました。

収入については、受講者参加費による事業収入11.7万円、13人の会費収入1.3万円、寄付金・援助金8.7万円です、

受講者参加費による事業収入と会費収入だけでは大幅な赤字になるところを、寄付金・援助金で穴埋めをさせていただきました。

1月24日に尼崎市労働福祉会館で開かれた、尼崎のNPO法人シンフォニー主催の「NPOプレゼン市場-NPOは今何をめざしているのかー」に参加し、5分間のプレゼンテーションを行い、優秀賞をもらってきました。

また1月25日には神戸で開かれましたひょうごボランティアプラザ主催の「ボランティア活動元気アップアワード」という行事に参加し、2分間のプレゼンテーションを行いました。「こつこつ賞」20団体に選ばれ、5万円の援助金を受け取りました。

赤字財政の中、貴重な収入でした。

スクリーンリーダーソフト(画面読み出しソフト)が1本購入できました。

<2004 年度事業計画>

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
コンピュータ教室開催事業	入門・初級・中級コンピュータ講座開催	月・木・土・ ／視覚障害者向け火曜 ／聴覚障害者向け日曜	尼崎市立身体障害者福祉会館	6 名	尼崎の障害者市民 延べ約 800 人	555
コンピュータ機器設置支援事業	在宅・作業所のコンピュータの初期設定・インターネット接続作業	随時	障害者自宅・作業所	3 名	尼崎の障害者市民 延べ約 48 人	144
ホームページ開設・運営支援事業	ホームページ教室開催／機器調整作業	土・日曜 ／随時	尼崎市立身体障害者福祉会館／自宅・作業所	2 名	尼崎の障害者市民 延べ約 24 人	72
法人設立・運営に関する支援事業	法人化講座開催	土・日曜	尼崎市立身体障害者福祉会館	4 名	尼崎の障害者市民 延べ約 60 人	36
障害者福祉に関する情報発信事業	ホームページ・広報誌による福祉情報の発信	随時 ／年 4 回	尼崎市立身体障害者福祉会館	13 名	尼崎市民 約 1000 世帯	86

1. コンピュータ教室開催事業

今年度の事業を大幅に拡大します。2003 年度のコンピュータ教室は、初級 2 教室、中級 1 教室の週 3 回でしたが、今年度は、入門、初級、中級にわけ、さらに障害別の 2 つの教室を開きます。画面読みだしソフトを使った「視覚障害者キーボード教室」、プロジェクター映写で手話説明をする「聴覚障害者初級教室」を動き出します。

2. コンピュータ機器設置支援事業

視覚障害者からの要望が特に強いのが、自宅の機器を音声の出るようセットしてほしいなどの訪問支援事業です。実際に自宅にお伺いしてコンピュータを調節する作業が望まれています。

担当予定者と話し合い、1 回 2 時間程度(経費 3000 円)で実施しようと、点字広報などで皆さんに知らせている途中です。

3. ホームページ開設・運営支援事業

6月より週1回計8回のサイクルで「ホームページ作成教室」を再開しました。現在4名の受講者の皆さんがホームページに画像を貼り付けたり、色を変えたりする方法を勉強されています。

実際に東京の **infoseek** 社の無料サーバーへ作ったホームページを掲載する予定です。

市内全支援費事業所のホームページ設置を目指し、**NPO** 法人として、無料で援助する支援事業を今年度は是非実施したいと動いています。どうぞお申し出下さい。

4. 法人設立・運営に関する支援事業

8月より「法人設立支援講座」を開きます。障害者当事者及び保護者などの関係者自らが支援費事業所を立ちあげて運営する事が始まっています。今後とも障害者団体・関連団体が法人化され、いっそう公的な性格を帯びていくことは、大事な方向となっていくでしょう。

私達「NPO法人 障害者情報ネットワーク尼崎」の設立の目的の一つとして、自らが **NPO** 法人化する過程を、市内の障害者及び関連団体へ知らせ、具体的に法人化へ向かう実務を支援することをあげてきました。法人化講座を再開して、皆さんのお役に立ちたいと考えています。

5. 障害者福祉に関する情報発信事業

開設しているホームページの充実を図り、(<http://amanetzh.web.infoseek.co.jp/>) 福祉情報、コンピュータ情報を発信します。

全国には実にたくさんの障害者に役立つ情報が公開されています。公共駅や建物、観光地のバリアフリー情報や、支援費などの政府の公報資料、一人一人の介護情報、

障害者への情報機器の便利な使用法、コンピュータ点字書物の公開・・・など実に多彩です。

本年度は、会員の力を合わせて、ホームページへのリンク集を充実させます。

2004年2月に私達の広報誌「明日のために」創刊号が発刊されました。今号で2合目ですが、年間4回の定期発刊を目指します。

読者の皆さんからの投稿もお待ちしています。

コンピュータ教室 受講者募集

1. パソコン入門教室

全くさわったことのない人の入門
(週1回月曜日2時～4時、計4回)

2. パソコン初級教室

漢字変換から暑中見舞い作成まで
(週1回木曜日2時～4時、計8回)

3. ワープロ中級教室

デジカメ画像取り込み、カラー印刷
(週1回土曜日2時～4時、計8回)

4. 視覚障害者コンピュータ教室

画面読みだしソフトを使います。
(週1回火曜日2時～4時、計4回)

5. ホームページ作成教室

実際に作成し、掲載するところまで
(週1回日曜日2時～4時、計8回)

6. 聴覚障害者初級教室

プロジェクト、手話通訳しながら。
(週1回日曜日2時～4時、計4回)

8月より開始予定

受講費用：1, 4, 6は **3000** 円

2, 3, 5は **6000** 円

1 年間たってみて NPO 法人会員の感想

パソコン教室を受講して、その後

大島 功

私は、20 年前に感電事故にて両手が不自由になりました。その頃からパソコンが普及し始めましたので、ワープロの練習を始め、文字を書くことには不自由なくなりました。

それ以後パソコンを購入致しました、最近のパソコンにはいろいろの機能がついておりますが、説明書を読んでもわからない専門用語が出てきますので、使いこなすことが出来ず、もったいないなあと思いがら中途半端に使っておりました。

習いに行けばとは思いますが、健常者と一緒ではと、すこし尻ごみしておりました時に、障害者情報ネットワーク尼崎の講習の広告を見てご指導を受けました。

今まではワープロのみ使用していましたが、おかげ様で最近ではデジタルカメラの取り込みやアルバム作りスライド表示や、メールや、インターネットを楽しんでおります。

これからもパソコンの機能も益々向上し、いろいろなことが出来るようになると思いますが、使いこなせない時の相談相手が出来た事を大変喜んでおります、今後ともよろしくご指導お願い致します。



図は「プロップステーション OPEN チャレンジイラストカット集」から使わせていただきました。感謝です。

私とパソコン

伊東 勇

私とパソコンの出会いは連盟の事務局長に就任した 9 年前でした。

脳性マヒで手にも障害があり、字を書くのも不自由であった私が、何とか、5 年間事務局長が出来たのは、パソコンを教えてもらい、使えるようになったからです。

その後、職場でも OA 化が進み、パソコンによる決済なども進み、時間はかかりますが手の不自由な私ですが、あまり苦勞をしなくてもよくなりました。

また、年賀状の時期になると苦勞をしていましたが、今ではパソコンを使うことでその苦勞から開放されました。

また、最近障害が重たくなり、思うように外出ができなくなっている私ですが、インターネットを使うことで情報も簡単に手に入れることができるようになり、大変喜んでします。

このように手の不自由な私は、もっとパソコンを勉強して世界を広げていきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。

受講生の一言に励まされて

高尾絹代

私が長年の教員生活にピリオドを打ち、縁あってこのコンピューター教室の初級講座の講師をお受けして、早 3 回の卒業生をお送りしました。

教員をしていたといっても、今まで教えていたのは健常者の若い学生でした。

受講生の方々は、障害の程度もコンピュー

ターに対する習熟度も様々ですし、私より年齢が上の方ばかりでした。どのように指導させていただいたら、皆さんに満足していただけるか試行錯誤の日々でした。

そのような情けない私の講座でしたが、皆さんはいつも熱心に受講されていて、途中の休憩もとられず、時間を過ぎててもなかなか終わられない状況で、むしろ私の方が背中を押されていました。

ある受講生の方の一言が忘れられず、私の心の宝物です。その方は、交通事故に逢われ手と足に障害を持っておられました。事故以来、お手紙を書かれたことがなかったそうです。この講座で文字入力をマスターされ、今は私にもお手紙を下さるようになっておられます。講座が終了した後の感想で、一言おっしゃいました。

「このコンピューター教室に参加させていただいて、私たち障害者こそコンピューターが必要だと実感しました。」

NPOとは何か？

松岡孝司

初めまして、松岡といいます。私は「障害者情報ネットワーク尼崎」の会員でもあります。本業は「NPO 法人アップストリーム障がい者支援センター」の事務局長と支援費事業所の管理者をしています。

毎日の新聞でNPOという言葉を見ない日はないような現状になりましたが、そもそも「NPOとは何か？」ときかれた時に、適切な答えの出来る人は、まだ少ないかもしれません。

ピーター・ドラッカーは、その著書でこんな言葉を書いています。

『企業は、財やサービスを供給する。政府は統制する。企業は、顧客がその製品を購

入し、代価を払い、製品に満足したときに、責務を果たしたことになる。政府は、その政策が効果を生じたときに、その機能を果たしたことになる。しかし、「非営利」機関は、財やサービスを供給することもなく、統制することもない。その「製品」は、一足の靴ではなく、効果的な規制でもない。その製品は、「変革された人間」である。つまり、非営利機関は、人間変革機関である。その「製品」は、治癒した患者、学ぶ子供、自尊心をもった成人となる若い男女、すなわち、変革された人間の人生そのものである。』（「非営利組織の経営～原理と実践～」から。）

活動分野や規模を越えて全てのNPOが、そこで「変革された人間」が社会や地域のさまざまな問題を解決し、一人一人が住みやすい社会を作っていく事に喜びを感じる生き方を創造していく。このことにNPO活動の醍醐味があるように思います。

情報を通して尼崎の障がい者や市民のネットワークに、「障害者情報ネットワーク尼崎」が貢献できるように、協働して頑張っていきたいと思います。

情報社会に思うこと

足立鐘平

やはり「ユビキタス社会」。

ユビキタス・コンピューティングという考え方が普及すれば良いなと想像します。

「人が何処に行っても、いつでも・どこでも、利用できるコンピュータの性能やその環境は同じ」という考え方であろうと理解しています。

「いつでも・どこでも」のフレーズのあと「誰でもが」を付け加えることが今後の情報社会のキーワードになるのではないか

と思います。また、そうでなければならぬと思います。

「誰でもが」というキーワードを持ったネットワークやコンテンツの提供こそ尼崎障害者情報ネットワークの 21 世紀の存在意義ではないだろうかと思ひます。なぜなら、誰でもが、すなわち、所得も大小かわらないネットワークは、社会構造の基礎部分に提供された情報技術の恩恵を受けるネットワーク社会と矛盾することはないと

考えます。だからこそ、そこで何が得られるかは重要だと思ひます。

私たちに必要な情報・生きた情報・活かせる情報は、実は誰でもが求める役に立つ情報でもあると考えられます。パソコンや携帯の利用が難しい人たちとっても簡単にネットワークつなげること。それが出来てはじめて、情報社会、ネットワーク社会と言えると思ひます。

役立ち情報(1) :

インターネットは全国のカラーパンフレットの集まり

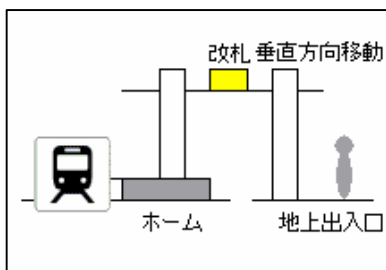
<例えば立花から京都に

JRで行きたいと思う時>

1. 駅のバリアフリーの状態を調べます。

「らくらくお出かけネット」というホームページに接続すると、全国の駅のバリアフリーの状態が出てきます。

「立花」で検索すると



という図が出てきて、ホームへは垂直エレベータで移動できることが分かります。

また「JR おでかけネット」でも、立花駅校内地図とバリアフリーについての説明図が出てきます。

「時刻表」も付いていますので、それを印刷して手元に持っておきます。

さらに「JR おでかけネット」で「京都

駅」を調べますと、構内地図が出て車いすトイレの位置、エレベータの位置が詳しく描かれています。

10 年ほど前、車いすの仲間とともにエレベータ設置を JR 西日本本社に要求した時、「1 つの駅につければ全部の駅につけなければならないとなりますので、たとえ尼崎市が全額補助しても、JR としてはエレベータは付けません。」と言い切っていた担当者の弁からは隔世の感があります。

京都駅の構内地図は印刷して手元に持っておれば、京都駅に着いた時、ウロウロしなくて済みます。

全国の駅のカラーパンフレットが、インターネットで取り寄せられる時代が来ているのです。

京都駅の近くの「三十三間堂」へ出かけてみましょう。きっと京都観光名所のバリアフリー情報、ひょっとしたら「三十三間堂のホームページ」にていねいな情報があるかも知れません。

ありました! 「なびナビ・きょうと」にバリアフリーマップ(寺社観光編)がありました。「車いすご利用の方に、ご参拝に無理の無いようにできるだけ段差をなくし、スロープ設置、裏堂展示コーナーに、御堂の長さを感じていただける1/100の模型や千手観音様を、さわってお姿を実感いただける「ふれあい観音」その他点字による案内等を設置。受付・堂内入口に車いす各5台置き、参拝者用トイレ内に障害者用トイレ設置。今後、境内を車いすでの散策可能な、遊歩道などを思案・検討中です。」という説明がありました。

「三十三間堂」自身のホームページはありませんでしたが、「三十三間堂」の言葉で検索すると、車いすトイレの写真を紹介した案内ホームページがありました。誰かがそのような情報を掲載してくれているのです。

京都のお寺は特に障害者には歩きにくいところ。事前にどれくらいのバリアーがあるか分かっておくと、がっかりしなくてすみます。

また地図や記述が無くても、「三十三間堂」の電話番号は記載してあります。遠慮無く、社務所に「バリアフリーの設備についてお聞きしたいのですが・・・」と電話すればいいのです。電話番号くらいなら、インターネットではすぐに分かります。



＜インターネットを自宅で見ることが できるまで ーその費用と手順ー＞

1. まずコンピュータを購入する

ノートパソコン	14万円
または	
机上パソコン	10万円
プリンター	2万円
ワープロソフト	2万円
ウィルス対策ソフト	1万円
合計	15 ~ 19万円

(インターネット通信販売が申し込めるなら、DELL社製は4万円ほど安い。)



2. インターネット接続会社へ加入

阪神ケーブルテレビ	毎月約5000円
OCN ADSL回線	毎月約4000円
	工事費約2万円

いろいろな会社・サービスがありますので、パンフレットを研究して下さい。金額はそれほど違いはありません。



3. コンピュータと通信機器を調整

識別登録番号やパスワードなどを、コンピュータを起動して、接続できるまでセットする。

知り合いに頼むか、電気屋さんにもやってもらうのが一番無難です。

いずれ私達のNPOも設置に出かける事業をします。

※ 1、2、3が済めば、時間無制限で、インターネット接続及びメールがいつでも使えるようになります。

インターネットが使える方へ

<役に立つ便利サイト集>

どんな言葉からでも関連サイトを検索してくれます

Yahoo! 検索 <http://www.yahoo.co.jp/>

旅行・観光

詳しい地図が出ます

情報地図マピオン <http://www.mapion.co.jp/>

Yahoo 地図情報 <http://map.yahoo.co.jp/address/index.html>

立体航空写真が見えます。尼崎市なら自分の家が見えます。郵便番号ですぐに検索。

いくとこガイド <http://www.ikutoko.com/>

観光地の情報

白浜温泉の情報なら、上の **Yahoo!** で「白浜温泉」と入力して「検索」

旅館・ホテル等を探す

名前が分かっているなら、直にその名前で検索すると、直接申し込むことができます。

空室を探すなら

JTB <http://www.jtb.co.jp/>

日本旅行 <http://www.nta.co.jp/>

日本全国の天気 尼崎の3時間刻みの予報も <http://weather.yahoo.co.jp/weather/>

バリアフリーの情報

らくらくお出かけネット <http://www.ecomo-rakuraku.jp/rakuraku/index/>

JR おでかけネット <http://www.jr-odekake.net/eki/>

車いすで回れる京都観光ガイド <http://yagi.doshisha.ac.jp/bf/guide/guide-top.htm>

史上最強! 障害者旅行情報 <http://www.geocities.co.jp/SilkRoad/8163/handicap.htm>

国内最大の障害者関連リンク集

福祉と障害者支援情報の総目次 <http://rel.chubu-gu.ac.jp/soumokuji/>

コンピュータ情報関連

こころ Web (コンピュータ操作を補助する装置)

<http://www.kokoroweb.org/main.html>

プロップステーション <http://www.prop.or.jp/>

障害者情報ネットワーク「ノーマネット」 <http://www1.normanet.ne.jp/>

NPO法人 障害者情報ネットワーク尼崎 ホームページ

<http://amanetzh.web.infoseek.co.jp/>

情報会員を募集します

前号で「情報会員を募集」しました。NPO 法人の事業として実施しますので、有料（年会費 500 円）としたのですが、4 月 24 日の総会で討議の上、年会費を無料に変え、情報発信事業として継続しようと、意見の一致を見ました。

